　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2016年1月16日（土）

　　　　　　　　　　地域から地方自治を考える

　　　　　　　　　　　　　　　第4回　地方自治研究会

　地方自治研究会は、2013年に東海自治体問題研究所の40周年記念事業として開講した「連続講座・基礎から学ぶ地方自治法」（講師・豊島南山大学教授）の閉講後、受講生から研究会の設立を要望する声から発足しました。これまで、３回にわたり地方議員の方々から議会の在り方などについて報告・議論をしてきました。第4回では、小牧市の図書館問題を指定管理制度と地方自治から考えます。また、今後の研究会の進め方についても意見交換をします。

　日時　2016年1月16日（土）14時から17時

　場所　名城大学名古屋駅前サテライト　会議室

　議題　小牧市の図書館問題を指定管理制度と地方自治から考えます。

　報告・問題提起　佐藤小牧市市会議員

　その他の議題　今後の地方自治研究会の進め方（別紙案）

　その他

　研究会終了後、自由参加の懇親会を開催します。

次回開催日時　２０１６年　　月　　日

　　　　場所

**地方自治研究会の今後の進め方**

**2015年12月1日**

１．経過と到達

　地方自治研究会は、2013年に東海自治体問題研究所の40周年記念事業として開講した「連続講座・基礎から学ぶ地方自治法」（講師・豊島南山大学教授）の閉講後、受講生から研究会の設立を要望する声があったため理事会で議論をした結果、会員が自主的に研究する会として発足した。その後、理事会において研究所の併設する研究会という位置付けとなり、これまで、3回研究会を開催し、行政職場や議会の現状と課題について議論をしてきた。これまでの研究会をつうじて、地方議会の在り方、地方議員の役割、地方議会と行政の役割が大きな地方自治を巡る課題となってきたため、あらためて、これからの研究会の在り方を確認します。

２．目的等

　自治体や地方議会、地域における現状と課題を探りながら、住民参加と住民自治による地方自治を育むための調査・研究をおこなう。研究会のメンバーがそれぞれ企画・発表しながらともに学ぶ。

３．今後の方針

　今日的な背景を受けて、地方議会の在り方、地方議員の役割、行政と地方議会の役割などの基本を学ぶ。同時に、各自治体・地方議会での現状と課題をさぐり、あるべき姿を研究する。当面、研究会として「地方議会と地方議員の使命」などの基本的なマニュアルを作成する。

1. 研究会開催について

　①今後の方針１については、各会の研究テーマを通じて学ぶこととします。②おおむね、２ヶ月に１回　土曜日に開催する。③開催時間は14時〜17時。④開催場所は「名城大学名古屋駅前サテライト」を当面使わせていただきます。⑤開催後、都合のつく方で懇親会を開催します。

５．今後の計画（案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回 | テーマと狙い | 開催日 |
| 4 | 小牧市の図書館問題〜指定管理者について〜  公共施設における指定管理者による運営の課題等について地方自治からの視点で議論します。 | 2016年1月16日（土） |
| 5 | 公共施設の再編、公共施設の在り方について | 2016年3月19日（土） |
| 6 | 空家条例を考える〜条例と法律について考える | 2016年5月　 日（土） |
| 7 | 沖縄辺野古の事例から〜国と地方の紛争処理について | 2016年7月 日（土） |
| 8 | マイナンバー制度の運営と自治体の役割 | 2016年9月 日（土） |
| 9 | 地方応援隊から補助金行政・要領行政について考える | 2016年11月 日（土） |
| 10 | ふるさと納税から自治体と憲法を考える | 2017年 1月 日（土） |

６．事務局

　加藤会員、可児会員

７．中長期的な展望

　第3回で確認した「議会と自治体の在り方〜議員マニュアルづくり」を当面の目標にする。

**以上**